

令和5年度 第2回定時理事会 議事要旨

公益財団法人東京都歴史文化財団

- 1 日 時 令和6年3月22日（金）
午後1時から午後1時56分まで
- 2 場 所 東京都千代田区九段北四丁目1番28号
公益財団法人東京都歴史文化財団 5階大会議室
- 3 理事現在数 10名
- 4 定 足 数 6名（理事現在数の過半数）
- 5 出席理事 8名
理事長 日 枝 久
副理事長 堤 雅 史
理 事 伊 東 信一郎
理 事 岡 素 之
理 事 荻 田 伍
理 事 妹 島 和 世
理 事 高 橋 明 也
理 事 藤 森 照 信
- 6 出席監事 2名
監 事 飯 塚 美紀子
監 事 延 與 桂 (WEB出席)
- 7 議 長
理事長 日 枝 久

8 審議事項

- 第一号議案 令和6年度事業計画及び予算について
第二号議案 共催協定の締結について
第三号議案 規程の改正について

9 議事の経過及び結果

(1) 議長就任

午後1時開会。WEB会議システムにより出席者の音声即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に、適時かつ明瞭に意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。日枝理事長の挨拶の後、定款第32条の規定に基づき日枝理事長が議長に就任した。本会が定足数を満たし理事会として有効に成立していること、及び定款第34条第2項の規定に基づき、本会の議事録には理事長及び監事が記名押印することの報告があった後、議事に入った。

(2) 第一号議案 令和6年度事業計画及び予算について

ア 議案説明

配付資料に基づき、「令和6年度事業計画及び予算書(案)」及び「資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類」について、総務部長が議案の説明を行った。
説明終了後、質疑は特になかった。

イ 議決

議長が採択を求めたところ、第一号議案は全会一致をもって原案どおり可決された。

(3) 第二号議案 共催協定の締結について

ア 議案説明

配付資料に基づき、総務部長が議案の説明を行った。

イ 質疑応答

<理事>

- ・共催相手方の選定にあたり、他に候補となる大学があったのかどうか知りたい。

<総務部長>

- ・23区エリアとは別に多摩エリアでも共催相手を探した際に、適任であると考え選定に至った。

ウ 議決

議長が採択を求めたところ、第二号議案は全会一致をもって原案どおり可決された。

(4) 第三号議案 規程の改正について

ア 議案説明

配付資料に基づき、総務部長が議案の説明を行った。

説明終了後、質疑は特になかった。

イ 議決

議長が採択を求めたところ、第三号議案は全会一致をもって原案どおり可決された。

(5) 報告事項

ア 財政援助団体等監査について

配付資料に基づき、財政援助団体等監査について、総務部長が報告を行った。

報告終了後、質疑は特になかった。

イ 新入材育成方針について

配付資料に基づき、新入材育成方針について、総務部長が報告を行った。

報告終了後、以下のとおり発言があった。

<理事>

・大変重要なテーマであると認識している。新入材育成方針の策定に至るプロセスの中で、職員への意見聴取やアンケートを行ったと説明があったが、大変よかったのではないかと思う。

ウ 諸規程の改正について

配付資料に基づき、諸規程の改正について、総務部長が報告を行った。

報告終了後、質疑は特になかった。

エ 職務執行の状況について

前回の理事会以降の日枝理事長、堤副理事長の職務執行状況について、日枝理事長、堤副理事長がそれぞれ報告を行った。報告終了後、質疑は特になかった。

(6) その他（財団の運営全体に対する質問・意見等）

議長から、財団の運営全体に関して質問・意見等を求めたところ、以下のとおり発言があった。

<理事>

・先ほどの大学との共催協定であるが、これは毎年やっていて、いろんな大学を巡るような事業なのか、それとも今年だけのものなのか教えてほしい。

<事業部長>

・この事業は令和6年度から開始するものであり、まず1度目を実施し、今後については東京都とも範囲を広げるかどうかを含めて相談していきたいと考えている。

<理事>

・先ほどの発言にもあったとおり、新人材育成方針の策定にあたり職員にいろいろな意見を聞いたことは大変良いことだと思う。

・キャリアアップの一環として異動が発生するが、これは多数の職場を見ることで、いろんな新しい安心感も与えられ、良いことだと思う反面、職場の長期的な展望をもっていろんな企画をつくり上げ運営していく場合に、短中期異動をしてしまうと腰を据えてできない部分があるのではないかと感じる。

・ほかの国内外の美術館を見ると異動は東京都の美術館の特徴的なことかと認識しているが、企画運営の面を考えると今後も検討していく必要があるかと思うので、引き続きよろしく願いしたい。

<総務部長>

・ご指摘のとおり、学芸員の専門性は我々としても十分に考慮しているが、せっかく幅広い美術館を運営する財団であるので、全く他館やそこでの仕事のやり方を知らないというのも、本人の成長にとって、あるいは組織の活性化という面でもいかがかと考えている。

・短期で繰り返し異動するというより、少なくとも数回は他の館で勤務してみる経験も大事ではないかと考えているため、美術館の長期的な展覧会の予定なども考慮しながら異動を調整している。何卒ご理解いただければと思う。

<理事>

・先日、他機関の方と話をする機会があり、そのときに素晴らしいというお褒めの言葉をたくさんいただいた一方で、アクセスをもっと良くしていただけるとありがたい、例えば美術館とその最寄りの駅とを30分頻度なり1時間頻度で都営バスが結ぶような、そんなことができるのかという質問を受けた。

・こういうことは理事会のような全体の場で決めていく必要があるのか、それとも、館として個別に検討しても良いものなのか教えてほしい。

<総務部長>

・この場で即答しかねる部分もあるが、アクセスの良し悪しは美術館によっても異なる面があり、館によって電車なりバスなり、取りうる手段も変わってくると思う。

・まずはそれぞれのそういった事情を聴かせていただいたうえで、課題として個別に共有させていただければと思う。

<理事>

- ・個別に検討した結果、相談することでよいか。

<総務部長>

- ・検討した結果をいただく前にご相談いただいても構わない。

<理事長>

- ・大変貴重な意見であるため、今の意見を事務局で検討し取りまとめたうえで、例えば生活文化スポーツ局なり交通局なり、東京都の中で検討を依頼するのがよいかと思う。

<理事>

- ・11月初旬のアートウィーク東京にて都内の美術館等を巡るバスを運行しているが、そこまで多くの場所を巡る必要はなくとも、例えば1か月に1回など日を設け、いくつか美術館を回るようなバスを運行し、そのような取り組みが定着してくると、普段美術館へ行かない人も行きやすくなると感じる。また、一度行くと行き方がわかりその後の来館につながるのではないか。

- ・また、第二号議案にあった子ども向けのキッズユースオープンキャンパスも夢があってとても良い。これから毎年恒例となり都民の方にも広く周知されるようになれば素晴らしい。

<理事>

- ・東京都の美術館として、もっと緊密な連携ができるの良いのではないか。例えばパリ市の美術館には非常に緊密な組織があり、独自の様々な企画を互いに連携し実施している。東京都の美術館においても、ソフト面でもハード面でも様々な形での連携の機会があればより良いと思う。

- ・また、美術館活動はどうしても区部中心であり、西の方は少し弱いため、もう少しうまく東京都全体に余波が行くようなアイデアがあれば検討していただきたい。

<理事長>

- ・当財団もこれだけの数の美術館を管理しているが、まずはお客様が来館し喜んでいただくことが第一である。

- ・今回出た意見等を財団としても検討し、東京都ともどうしていくかということを考えていきたい。

以上により、定時理事会の議事をすべて終了し、午後1時56分閉会した。